

巻頭言

学びの成果、努力を称える中に

加瀬 正裕

4

特集

海外起業の「軌跡」と「奇跡！」

砂川 元克

5

速報

「CUC経営者会議」が正式に発足！  
CUC経営者会議発足に当たって

石井 一男

25

活躍する卒業生

Shall We Dance?

早川 政美

28

本部からの報告

定期総会およびホームカミングデーのお知らせ  
教育研究会活動報告  
写真「私にとっておきの一枚」作品大募集

広報・IT委員会  
近藤 真唯  
きずな編集委員会

31 31 31

支部からの報告  
同期会からの報告  
OB会からの報告

奥田 博義

46

同窓会活動

学生との交流稽古会 — 剣道部OB会  
懇親会開催 — 体育会排球部OB会  
同窓生寄稿

高橋 伸治

47

高校再編計画 — 委員長体験記  
わが母校 わが箱根仙石原

南雲 宏道

48

第27回ゴルフ大会開催 — 瑞穂会  
第44期同窓会維持会費納入者(追加分)

勝俣 昭次  
岸田 重芳

49 50

卒業生のお宿・お店紹介 佳松園 ホテル千秋閣 ホテル花巻 ホテル紅葉館

広報・IT委員会

52

随筆

ヤジよりベビーカー  
室内オーケストラの興隆

小林 宏行  
伊藤 宏一

53 54

伝統と実績プラス学びの楽しさ・おもしろさを追求 — 商経学部  
環境は現場で学べ — 政策情報学部

太田 三郎  
原科 幸彦

56 57

明日(9月27日)、同窓会秋田県支部総会に出席します — サービス創造学部  
学生笑顔・涙と成長「るるぶ」完成 — 人間社会学部

吉田 優治  
朝比奈 剛

58 59

CUCの教育

Diversity「男女協働参画」 — 会計ファイナンス研究科  
 教育革新センターの活動について — 教育革新センター  
 知的インフラとしての大学図書館の拡充をめざして — 図書館  
 先輩からの教え — 学生部  
 大学と卒業生との連携強化 — 地域連携・ネットワークセンター  
 GPA Cで進む国際化 — 国際センター  
 クライアントとサーバー — 情報基盤センター  
 「会計教育研究所」の活動内容について — 会計教育研究所  
 経済研究所における活動 — 経済研究所

ゼミ紹介

企業のマーケティング課題に挑戦する実践型マーケティング・ゼミ

武見 浩充  
 鈴木 春二  
 金 元重  
 松尾 正敏  
 瀧上 信光  
 高橋 百合子  
 柏木 将宏  
 梶岡源一郎  
 上山 俊幸  
 宮澤 薫

■ ニュース・イベント

サービスクリエーション部

「ブライダル・ファッションショー」OUR WEDDING（梅雨のめぐり合わせ）」

学生たちが大活躍!! 千葉商科大学マッテデー

デジタルコンテンツアセッサ(DCA)資格認定授与式を開催

海外6カ国・地域の13大学の学生たちとのサマープログラムを開設

第2回グローバル人材育成シンポジウム

「世界で学ぼう!」留学を成功させる3つの鍵」開催

■ メディアで紹介されたCUCの報道一覧

■ 地域連携・ネットワークセンターニュース

市川市との連携等に関する平成26年度包括協定推進協議会を開催

学生ボランティアが多方面で活躍しています

CUCグローバルプログラムについて

実学に期待をよせて

教育後援会交流会に参加して

売り手市場だからこそ、適社適職にこだわる

著書紹介

「アメリカ国家像の再構成」

著者：中島 醸

宮下 律江  
 伊藤 敦子  
 石橋 紀子  
 川瀬 功  
 中島 醸

60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 76 77 78 79 80 81

# 学びの成果、 努力を称える中に

現役学生の活躍ぶりを辿ってみるに、学びゆく中、良好な風が吹いていると感じました。

実学重視を謳う我が母校、千葉商科大学。今春、久方ぶりに簿記会計分野における朗報がありました。

去る5月31日、大原大学院大学主催の「第53回全国大学対抗簿記大会」において、母校・千葉商科大学代表「瑞穂会」は、「団体1級の部」において、並みいる強豪を制して優勝するとともに、団体3位までを独占する快挙を成し遂げました。ちなみに参加校数は90大学。また、「個人1級の部」において福富紀之君の優勝とともに、4、5、7、8位と続き、上位32名中11名が名を連ね、学びの成果たる力量を発揮しました。遅ればせではありますが、「本当によくやりましたね」と申し上げます。

熱意ある指導を進める先生方と意欲に満ちた学びの姿勢のもと、技能とともに自身を磨き上げる学生の皆さんの努力を称えます。

## 加瀬 正裕 ● 千葉商科大学同窓会会長 (昭43 経済)



この「風」としての朗報から感じたことを、月並みながら一言触れてまいります。

■ 先生と学生諸君との間に信頼関係ができています。

学生自身に明確な学ぶ目標があること。その結果、確たる学ぶ環境が築かれていること。

■ 専門分野で学ぼうとする高校生に対する広報上、大きな訴求効果が期待されること。

■ 学生間においても、称える気持ちが高揚感を生み、大学に対する帰属意識の深まりとともに、ひいては自己肯定感に発展することも期待されます。また、切磋琢磨の大切さを認識し、自身を見つめる絶好の機会です。

教育機関に対する「ブランド、若しくはブランド力」は「教育力に対する信頼度の大きさ」を示すバロメーターでもあります。信頼ある教育へと定着させるためには、弛まぬ積み上げと熱意に裏打ちされた教育活動に基づく年月が必要です。また、風も必要です。

# Shall We Dance?

## 早川 政美

チャコット株式会社代表取締役社長  
昭和56年3月 商経学部商学科卒業

このコーナーでは実社会で活躍する同窓生の紹介をしています。今号はチャコット株式会社代表取締役社長早川政美氏から「寄稿いただきました。」

### 会社の信条…芸術と共に生きる

「芸術と共に生きる」…1950年の創業以来、チャコットはバレエ芸術、ダンス文化を愛する情熱とともに、この信条を守り続けています。チャコット株式会社は、バレエ・ダンス用品の製造・販売では国内トップシェア

を占める、世界にも稀な総合ダンス用品メーカーです。海外の有名バレエ団が日本公演で来日する際には、本店である渋谷には「チャコット詣で」のダンサーがひきもきらない状態になるほど、唯一無二のシヨップとして愛されています。

また近年では新体操の用具が世界トップクラスの選手たちの支持を得て、新体操の核拠点である新宿店には各国の代表選手が足しげく通ってきます。この新宿店はフィギュアスケートの衣裳の核拠点でもあり、皆さんがテレビ等で目にするスケーターたちの中には、ここで衣



裳を作っている方もいます。こうした交流を通じ、私たちは世界の一流アーティストたちから、人々に夢を与え感動に導く力を学んできました。本物であること。新しい可能性を信じること。この原則は「芸術文化」から「健康と心の豊かさ」へとビジネスステージを拡大した今も変わりません。現代社会は物質的な豊かさから、心の豊かさを求める時代へとますます成熟しつつあります。これに伴い、弊社の果たすべき役割はさらに重要性を増すことになるでしょうし、それに応えられるだけの企業であり、社員であり続けなければならないと認識しています。

### 商大時代…文教の地・国府台の思い出

私自身は、チャコットに入社するまではバレエやダンスに親しんだ経験はほとんどありません。

本学に入学した際も、おぼろげに観光ビジネスへの興味を抱き、将来は旅行業、ホテル業に進もうかと漠然と考えていました。将来の展望はともかく、せっかく商科専門の大学に入れたので、基礎を一から学び直そうと決心し、中山にいた親戚が営んでいたそろばん教室で小学生と並んでそろばんを習うなど、文教の地・国府台に学

ぶ学生よろしく、一応の向学心をもって学生生活を過ごしました。ゼミは中村教授の近代経済ゼミをとり、ゼミ旅行でグアムを訪れたことが思い出されます。

### 入社のかっかけ…ふるさと長野が縁

バレエ・ダンスと無縁の私がチャコットとご縁を持つに至ったのは、出身地である長野県青木村の隣、上田市にチャコットの自社工場があったことが大きく影響しています。私がチャコットを認識したのは高校時代で、当時はまだ社名もチャコットではなく、「スワンシユーズ」と言っていた頃です。一昨年、工場は同じ上田市内で移転・拡張を行いました。もともとの工場は上田の材木業・建設業「川西」が建築したもので、実は早川家は3代にわたって、この会社のお世話になっています。振り返れば、もともと地縁としては濃いものがあったということでしょう。

### 修行時代…商科出身の強み

入社した際は、東京で2〜3年営業を勉強し、お客さまの要望を体にしみこませたうえで上田に戻り、顧客の要望を汲んだモノ作りを…と考えていたのですが、配属

は総務・経理に。商科出身ということから、この配属になったようです。結局5年間、総務・経理で職務を遂行しましたが、会社の人・モノ・金の流れを数字で俯瞰できる業務に携われたことは今も財産となっています。その後、念願の営業職に異動。以後一貫して営業畑を歩み、今日に至っています。その間、チャコットの体操部があったころは、日本代表の小菅麻里さんが所属し、体操監督兼応援団長として、小菅選手が世界を転戦するに合わせ、ドイツ・フランスなどにも赴きました。おかげさまで今でも体操会にはゆかりの深い方が多く、今新体操で当社が各方面から支持をいただいているのも、こうした方々あってこそだと思います。

### 今後の展望…ダイニングカフェの立ち上げ

さて、チャコットは来年初創業65周年を迎えるにあたり、一層の業務の拡大に取り組んでいます。すでに存在するマーケットへの対応を図るだけでなく、自らマーケットを創造する方向にソフトチェンジをし、新たな事業の創出に挑んでいます。この11月には東京都中央区勝どき三井不動産レジデンシャルと共同し、芸術・文化で街の活性化に貢献し得る「仮称チャコット勝どきスタジオ・

カフェ」を立ち上げます。ここでは「しっかりと美味しく食べて、健やかな身体を作るバレエ・フード」を提供するダイニングカフェを初めて展開します。バレリーナの美しい身体に憧れる女性たちに、美と健康を提供できるお店にできればと、準備の真つ最中です。今後もチャコットはバレエ・ダンス文化への支援・確かな品質とすぐれたデザインで舞踊技術の向上に貢献することはもちろん、バレエ・ダンスと無縁の方々にも、健やかな生活の実現のお手伝いができるよう、挑戦し続けてまいります。ぜひ、皆さまも一緒に、  
Shall We Dance?

### 早川 政美

略歴…

昭和56年

千葉商科大学商経学部商学科卒業

チャコット株式会社(旧社名)スワンシユーズ株式会社 入社

平成24年

代表取締役社長